

早稲田大学学生部長 池谷知明殿
学生生活課課長 久保山尚英殿

2021年9月15日
文化団体連合会常任委員会

公開質問状

現在、早稲田大学当局・学生部は、サークルの公演・企画等を「集客を伴わないオンライン配信」のみに限定しています。このことによって、多くのサークル員が観客の前で演じる機会を奪われています。この措置が半年以上も続いていることで、サークルの存続が揺らぎかねない状況さえも生み出されています。社会的には「緊急事態宣言」下でも、必要な感染対策を講じた上で「有観客公演」がおこなわれています。サークルだけが「有観客公演」を禁じられているのは納得がいきません。私たちは、学生部にたいして、以下の質問に真摯に回答するように求めます。

(1)

学生部がサークルにたいして参照を推奨している専門家のガイドラインでは「来場者による大声での歓声、声援、唱和がないことを前提とする公演については必要となる感染防止対策を講じた上で、収容定員までの配席数（収容率100%）とすることが可能です」（公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン改訂版」）とされています。

このガイドラインに基づいて、社会的には収容率100%の「有観客公演」がおこなわれています（「緊急事態宣言」下でも収容率50%以下の「有観客公演」が認められています）。サークルも必要な感染対策を講じた上で「有観客公演」が認められるべきです。なぜサークルだけが「有観客公演」を禁止されるのか説明を求めます。

(2)

早稲田大学当局は、大隈講堂、小野講堂の貸出をおこなっていますが、外部団体には収容定員50%までのイベントを認めている一方で、サークルにたいしては「集客を伴わないオンライン配信」のみに限定しています。なぜ同じ場所であるにもかかわらず、外部団体には「有観客公演」を認め、サークルには認めないのか説明を求めます。

(3)

早稲田大学当局は、野球部の「早慶戦」をはじめとして、一部の体育部にたいしては「有観客」の大会参加を認めています。なぜサークルにたいしては「有観客」のイベントを認めないのか説明を求めます。

以上の3点について、9月22日までに文書での回答を求めます。

以上